



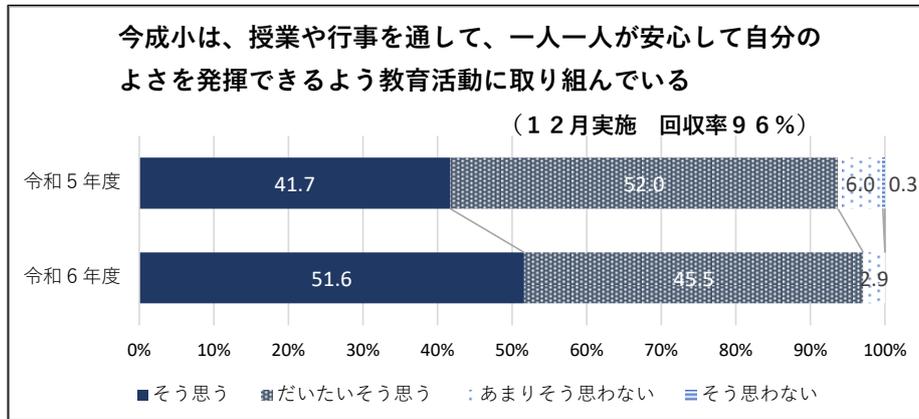
一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和7年3月3日発行

もっと自分のよさを発揮できる学校になるように



桜の開花予想もちらほらと耳にするようになり、寒さの中にも幾分か春の気配を感じる頃となりました。

さて、本校では今年度、教職員が授業や学校行事の中で子どもたちのよいところをほめて伸ばし、一人一人が自分のよさを発揮できるように努めてまいりました。また、各学級の雰囲気づくりによって、子どもたちがお互いの長所を進んで認め合い、教室が安心して自分を表現できる場となるよう心がけてまいりました。

過日、保護者の皆様に回答いただいた「教育に関するアンケート」では、この項目について「そう思う」の割合が前年度より増加していました。全教職員で力を注いできた部分であり、大変ありがたい評価と受けとめております。あわせて、子どもたちの生き生きとした姿は、心と体を健やかにして学校に送り出してくださる各ご家庭のご協力のお陰であると改めて感謝いたしております。

しかしながら、教育にゴールはありません。今年度の主要な取組を振り返るとともに、今後に向けて改善すべきものを見出します。また、保護者の皆さんと相互の協力体制をより確かなものとし、子どもたちの意欲や自信を育み、**もっと自分のよさを発揮できる学校になるように努めてまいります。**

来る^{きた}3月24日には、立派に成長した63名の6年生の皆さんが今成小学校を巣立っていかれます。卒業生の皆さんが、これからもふるさと川越、今成小学校を大切に思い、さらに広く世界にも目を向け、一人一人が自分の夢や希望に向かい意欲をもって進まれることを願っています。

結びに、地域や保護者の皆様には今年度もあたたかいご支援を賜りました。特に、子どもたちの安全な登下校を見守ってくださっているスクールガードリーダーの中島様、久光様、池田様、各地区の協力者の皆様方には改めて深く感謝申し上げます。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす